



甲南平生国際フォーラム

第5回

生物と文化の多様性 ～アジアからの発信～

第5回甲南平生国際フォーラムは、甲南大学とマラヤ大学(マレーシア)との協定調印を記念して、「生物と文化の多様性～アジアからの発信～」と題して開催いたします。

2010年10月、名古屋で開かれたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を省みて、私たちは、自然が創り出した生物世界の多様性、そこからもたらされる豊かさと恵み、そして地球環境と人間存在について、改めて考えさせられました。

しかしながら、人間は、自分たちが「生物多様性」の一部であることも、「すべての生き物はつながっている」という単純な事実さえも忘れ、自分中心にふるまいがちです。

そんな私たち人間への自戒を込めて、COP10の記憶が消えないうちに、人間をしっかりと「生物多様性」のなかで捉え、そこで生じた「文化」を考えること—これが今回のテーマであります。

アジア圏の中でも、多様な生物、民族、文化が共存するマレーシアとの対話をどうかお楽しみください!



Program

ごあいさつ 13:00～13:05 甲南大学学長補佐 井野瀬 久美恵

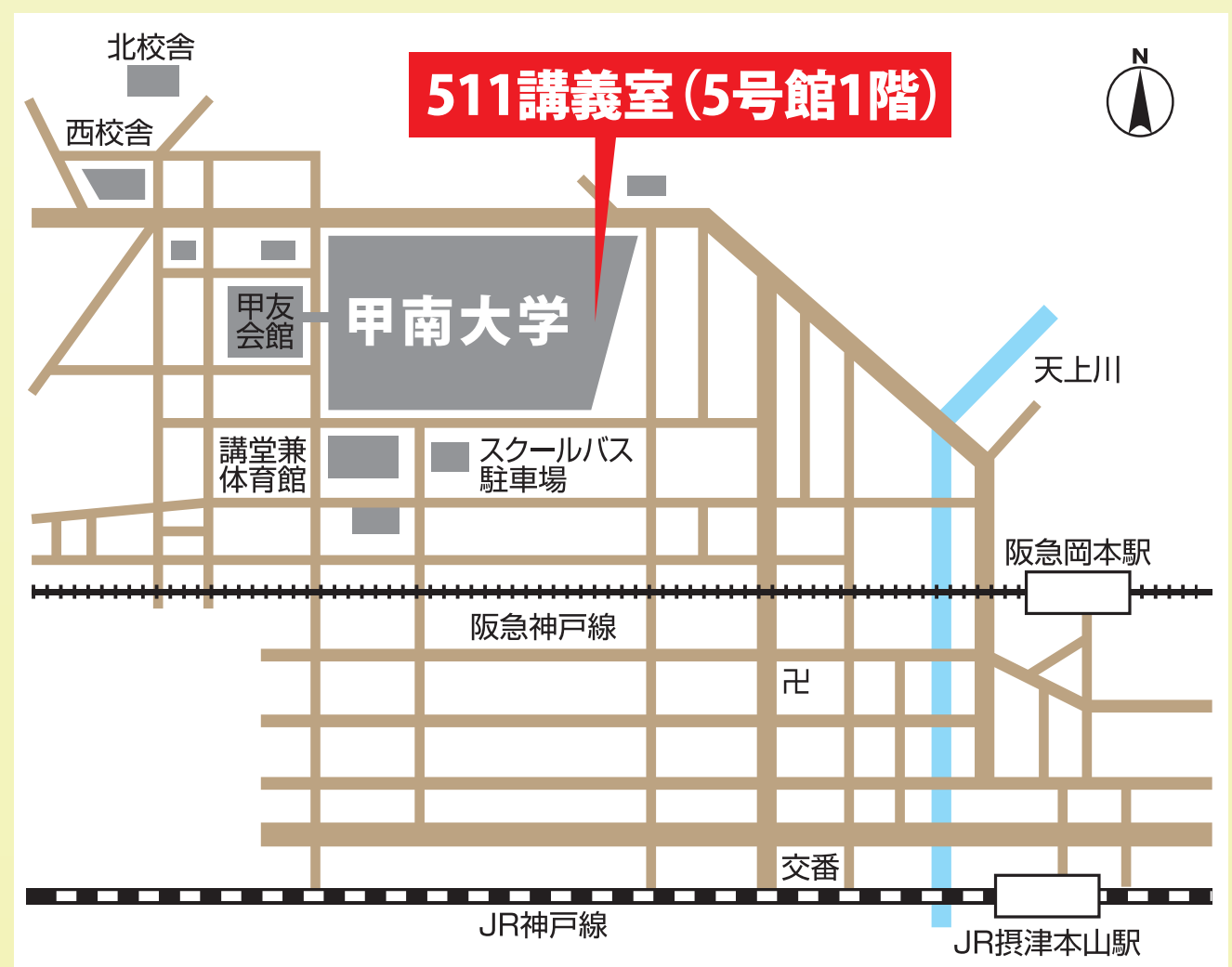
記念講演 13:05～13:35 甲南大学長 高阪 薫
テーマ「若者よ、アジア・スタディーズへ!～マラヤ大学との協定に寄せて～」

特別講演 13:35～14:25 マラヤ大学 学長 ガオウ・ジャスモン氏
テーマ「日本への想い～甲南大学との協定に望む～」

パネルディスカッション 14:35～16:05 パネリスト
田中 修(甲南大学 理工学部教授)
アジザン・バハルディン氏(マラヤ大学文明化のためのダイアログセンター(CCD)所長)
ニック・マリアム・ニック・シュレイマン氏(マラヤ大学サステイナビリティ学クラスター長)

ファシリテーター
谷口 文章(甲南大学 文学部教授)
モハマッド・ジャミール・マーハツ氏(マラヤ大学副学長)

2011
1.8 (Sat)
13:00～16:05(12:30開場)
甲南大学 511講義室(5号館1階)
●入場無料 / **先着300名**



■JR神戸線「摂津本山」駅または阪急神戸線「岡本」駅より北西へ徒歩約10分
●車での来場はご遠慮ください。●大学内は全面禁煙です。

